

MODERN KAMAKURA
AS SEEN BY FEMALE
STUDENTS

— 田辺新之助と鎌倉女学校 —

女学生がみた 近代の鎌倉

生徒による特別展示

知られざる鎌倉の姿
～わたしたちが見た鎌倉～

同時
開催

2024

12
・
14

SAT

2025

3
・
1

SAT

主催 鎌倉歴史文化交流館（鎌倉市教育委員会）
学校法人 鎌倉女学院

開催時間／10時～16時（入館は15時30分まで）

休館日／日曜・祝日・休日・年末年始

観覧料／（一般）400（300）円（小：中学生）150（100）円※

住所／〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1

アクセス／JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分

電話／046717318501 FAX／046717318545

Eメール／tekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

※「」内は20名以上団体料金 ※本料金で本館平常展示もご覧いただけます。
※身体障がい者手帳の交付を受けた方と付添1名 鎌倉市に通学している小・中学生から大学院生及び市内
在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証カード等を提示してください。

鎌倉歴史文化交流館

Kamakura Museum of History and Culture



田辺新之助肖像画

MODERN KAMAKURA
AS SEEN BY FEMALE
STUDENTS

女学生がみた 近代の鎌倉

—— 田辺新之助と鎌倉女学校 ——

明治時代以降、鎌倉は保養地や別荘地、観光地として発展しました。鎌倉の歴史・文化を守りながら、その発展を支えたのは、鎌倉に移り住んだ文化人たちです。中でも、漢学者・教育者である田辺新之助は、鎌倉女学校（現・鎌倉女学院）を創設し、鎌倉同人会が建立した史跡碑の撰文を手掛けるなど、鎌倉の文化的・教育的発展に大きく貢献した人物です。明治・大正・昭和という時代を鎌倉の発展と共に歩んできた鎌倉女学院には、田辺の女子教育観や文化人たちとの交流、女学生たちの学校生活を伝える資料が遺されています。

本展では、鎌倉の都市としての新たな歩みを、当時の女学生の視点から紹介するとともに、鎌倉の女子教育に尽力した田辺新之助の足跡を辿ります。

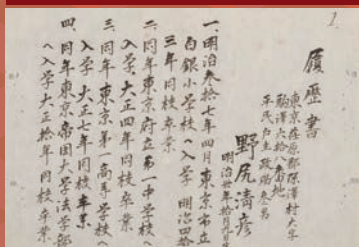
また、学校生徒による特別展示「知られざる鎌倉の姿」わたしたちが見た鎌倉」も併せて開催いたします。



学級日誌



テニスラケット



大佛次郎履歴書



校服（複製）

額「真執事沈著」

※所蔵はすべて鎌倉女学院

講演会 女学生がみた 近代の鎌倉

- 開催日時** 令和6年(2024)12月22日(日)
13:00～15:40(開場 12:30)
- 開催場所** 鎌倉女学院 陸奥ホール
- 定員** 50名・参加費無料 ※応募者多数の場合は抽選
- 講師** 袴田潤一(松坡文庫研究会代表)
「漢詩人 田辺松坡」
金子智哉(国立公文書館上席公文書専門官)
「近代鎌倉と歴史遺産
ー関東大震災からの復興ー」
- 研究発表** 渡邊希来(鎌倉女学院高等学校1年生)
「鎌倉を世界に広めた一冊の本
ー陸奥イソとKamakura Fact and Legendー」
- 募集期間** 12月1日(日)～10日(火)必着
- 申込方法** 電子申請 e-kanagawaまたは往復はがき
(催し名、住所、氏名、連絡先)

鎌倉歴史文化交流館

開催期間 / 令和6年(2024)12月14日(土)～令和7年(2025)3月1日(土)
開館時間 / 10時～16時(入館は15時30分まで)
休館日 / 日曜・祝日・休日・年末年始
観覧料 / 〔一般〕400〔300〕円〔小・中学生〕150〔100〕円※
住所 / 〒248-0011 鎌倉市扇が谷1-5-1
アクセス / JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分
TEL / 0467-73-8501 FAX / 0467-73-8545
Eメール / rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

※〔〕内は20名以上団体料金 ※本料金で本館平常展示もご覧いただけます。
※身体障がい者手帳の交付を受けた方と付き添い1名、鎌倉市に通学している小学生～大学生及び市内在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。
※一般用の駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。 ※障がい者等用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。

